



諏訪湖通信82号

令和7年4月21日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



「諏訪湖に学ぶ(水環境編)」講座について観光ガイドさんから意見を伺いました

令和7年3月6日(木)、諏訪湖環境研究センター(以下「センター」)において、地域の皆様等への学びの支援に向けた取組が早速始まりました。この取組は「諏訪湖創生ビジョン 学びの推進」に位置付けられており、センター開所前から諏訪湖の案内人(仮称)ワーキンググループ(以下「WG」)において検討が進められてきたもので、今回は日頃から地域住民や観光客の方々に諏訪地域の歴史文化等をお話されている13名の観光ガイドさんに受講していただき、今後、魅力的な講座となるよう大所高所から改善点も含めたご感想をいただきました。

【WG 検討結果、次期ビジョン改定(R10.3)までの取組】

諏訪湖の水環境や歴史・文化等を多くの方々学べる環境づくりとして

- 1 水環境講座は諏訪湖環境研究センターが、歴史・文化等の講座は諏訪地域振興局企画振興課が担当する。
- 2 開講する講座の名称は多くの方が気軽に受講できるよう親しみやすい【諏訪湖に学ぶ(〇〇編)】とする。
- 3 歴史・文化等の知見やガイドスキルを有している既存の観光ガイド団体様と連携し、諏訪湖の水環境の知見についても併せて地域住民、観光客の皆様へ発信いただけるようご協力をお願いする。
(上記1~3の取組を今後進めて行くことが承認され、WGは解散となりました。)



(観光ガイドさんへの講座開講中の様子)

民間企業など有志の皆様によって水質浄化実験が始まりました

令和7年3月29日、岡谷市湊の花岡第2船着き場にて、水質浄化装置の説明会が開かれました。装置は地元企業である(株)アイ・コーポレーション様、(株)テンノウ・フーズ様や天竜川流域の企業((株)グリーン様、(同)ウィザース様)などが中心となって設置したもので、美しい諏訪湖を未来に残したいという強い想いから実現しました。低酸素状態にある水中に空気(酸素)を超微細気泡の形態で供給することで微生物が汚泥を分解し底生動物等の生息しやすい環境を整えるとのことです。諏訪湖の水質浄化を諏訪湖流域だけでなく天竜川流域の皆様とも一緒になって考えるきっかけとなり、その輪が大きくなることを願っています。



(説明会の様子)



(設置された装置(B-369))

諏訪湖クラブが作成した「諏訪湖に学ぶ」の冊子を諏訪地域の小中学校他に配布しました

諏訪湖クラブが、令和6年度の長野県地域発元気づくり支援金を活用し、「諏訪湖に学ぶ」として作成した冊子4冊が完成し、諏訪地域の小中学校他に配布しました。



- (1)「日本の近代化を支えた養蚕業とカイコについて学ぼう」
A4 サイズ32p、3、500冊
編集:伴野豊氏
- ・養蚕業とカイコ
 - ・養蚕業と日本の近代化
 - ・カイコを育ててみよう
 - ・育てた繭から糸繰り
 - ・繭クラフト作り
 - ・カイコのこともっと知ろう



- (2)「諏訪の大地誕生」
A4 サイズ24p、3、500冊
編集:北澤和男氏
- ・日本列島の誕生
 - ・中央構造線の形成
 - ・フォッサマグナの形成
 - ・諏訪の火山活動
 - ・諏訪盆地・諏訪湖の形成



- (3)「諏訪湖の漁業とさかなたち」
A4 サイズ40p、6、000冊
編集:沖野外輝夫氏 八幡義雄氏
- ・諏訪湖の漁業の歴史
 - ・諏訪湖の漁獲量の推移
 - ・古くから伝わる漁法
 - ・諏訪湖に生息する在来魚
 - ・諏訪湖に移入された移入魚
 - ・諏訪湖に生息するエビや貝



- (4)「諏訪湖の鳥、周辺の鳥」
A4 サイズ28p、6、000冊
編集:林正敏氏
- ・諏訪の空をトキが飛んでいた頃
 - ・四季を通して観察できる鳥たち
 - ・南の国から渡ってきた夏鳥たち
 - ・北の国から渡ってきた冬鳥たち
 - ・諏訪湖を中継地とする旅鳥たち
 - ・野鳥を観察に出掛けよう
 - ・餌台の作り方とその心得

番組「新時代の諏訪湖へ」が長野放送 NBS フォーカス〇信州で放映されます。

諏訪湖の浄化の35年その今とこれから かつてのアオコに汚れていた諏訪湖は、どのように潤いのある姿を取り戻せたか。これまでの長野放送の貴重な映像によって浄化の歩みと今を見つめます

放映日時:令和7年4月25日(金)午後7時~8時

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



諏訪湖通信83号

令和7年5月20日号 発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



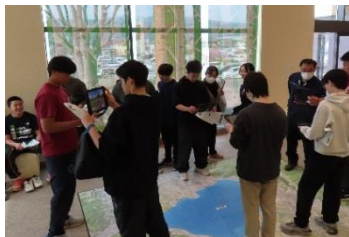
岡谷工業高環境化学科3年生が 諏訪湖環境研究センターを見学しました

岡谷工業高校環境化学科はこれまで、諏訪湖の貧酸素問題やマイクロプラスチック問題等に関する課題研究に取り組んでおり、今年度は3年生15名全員が、課題研究のテーマとして諏訪湖の水質や生態系に焦点をあて、取り組んでいくとのこと。その導入学習として、4月18日(金)に諏訪湖環境研究センターの常設展示及び2階・3階の検査室を見学しました。

はじめに常設展示の見学をし、諏訪湖のなりたちや現在の課題など、諏訪湖を研究するうえで基礎となる内容を学習しました。続いて、通常は一般に公開していない2階・3階の検査室へ。研究員による分析機器の説明や実際の作業の様子を見学し、とりわけ、有機検査室に設置されている局所ドラフトや底泥研究室の底泥酸素消費速度を測定する装置に興味を持った様子でした。

生徒たちはこの日のセンター見学を経て、各自が取り組む研究テーマを選定し、来年1月の研究成果発表会に向け、課題研究を進めるとのこと。来年の成果発表で、どんな研究結果が出てくるかとても楽しみです。

今後は、センターとの共同研究につながることも期待します。



(ホワイエ展示見学の様子)



(機器室・研究室見学の様子)

諏訪湖環境研究センターが調査船を導入しました

諏訪湖環境研究センターは、このほど諏訪湖の調査研究をより効率的に行うため、自前の調査船を導入しました。船の名前は、「かんけん1号」です。諏訪湖環境研究センターの「環」と「研」から命名しました。

定員は12名と大きな和船ですが、諏訪湖の採水・採泥、水草調査においては、甲板を広く使えて、作業効率が上がります。

現在、センター職員には4名の船舶免許所有者がいますが、船の運転は皆、初心者ですので、運転練習の毎日です。

今後、湖岸や湖上でセンターの調査船を見つけたら、やさしく見守っていただけたら幸いです。



(調査船「かんけん1号」係留場所は東赤砂船着場です)



(研究員による操縦の様子)

波返しコンクリート護岸が生態系に配慮した着(なぎさ)に至った経緯

昭和42(1967)年諏訪湖周護岸工事開始

諏訪の周囲16kmの整備がほぼ終わったのは平成4年でした。多くの方から自然に配慮が足りないとの指摘を受けました。

○護岸の構造について

①堤防天端幅/ 計画高水流量を定めない湖沼の天端幅として基本計画幅3m、三面張以外は+1m、波浪高+1m、背後地が市街地 +1mの計3mを加えて堤防幅は6mとしました。

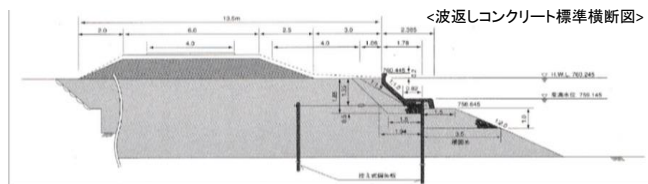
②堤防勾配/ 湖水の浸透に対して安定な2割以上。

③余裕高/ 波高の解析にはSMB法が広く使用されています。SMB法とは、風速、吹走距離、吹続時間の3つの要素から波高を算出します。

計算によると0.97mとなりますので1mとしました。

④小段/ 下記理由により幅3mを確保しました。

洪水時による洗堀防止。浸透水に対する安全確保。水防作業の時の作業車の通行。



波返しコンクリート施工写真

護岸型式別整備延長						
護岸型式	波返しCO	低水式護岸	階段式護岸	自然石護岸	遠浅護岸	合計
延長 (m)	11,115	1,400	523	1,658	555	15,251

平成5(1993)年国が定めた多目的型川づくり実施要領を受けて水辺整備の先行工事を開始

諏訪湖水辺整備の基本的な考え方

湖畔を一律に再改修するのではなく、沿岸地域と背後地の特性に配慮し、地域住民の要望にも配慮し、8ブロックに分けて、その地域の特性に合わせた再改修計画を実施しました。

・湖岸の陸域だけでなく、湖側の水域にも配慮した設計としました。

・既存のコンクリート護岸は覆土し、陸域と水域の連続性を再生しました。

・水際の水生植物について

抽水植物に関してはマコモを主に植栽しますが、沈水植物に関しては埋伏種子、根系による自然再生を基本としました。 →次号に続く



先行工事実施位置図

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901



諏訪湖通信84号

令和7年6月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョン推進会議会長 沖野外輝夫氏 第32回信毎賞受賞決定

諏訪湖クラブが2年越しで応募していました当会の沖野外輝夫会長の信毎賞受賞が、令和7年6月4日の選考委員会で最終決定し、6月5日の信濃毎日新聞朝刊で報道されました。なお、授賞式は7月4日に長野国際ホテル21にて行われます。誠におめでとうございます。

第32回信毎賞2氏1団体に

沖野外輝夫さん(八十八歳)

沖野会長は、生き物と環境の関係を研究する生態学者で信州大学の名誉教授でもあります。

諏訪湖で発生するアオコ(水が緑色になる現象)の原因を調べる研究に力を入れました。この研究によって、諏訪湖の水をきれいにするための方法の土台を作りました。また、後述の水質浄化実験にも携わってきました。

研究者として、地域の人たちが環境を守る活動を応援し続けており、現在は諏訪市に住んでいます。

なお、沖野会長の他、大城和恵さん、満蒙開拓平和記念館が受賞されました。

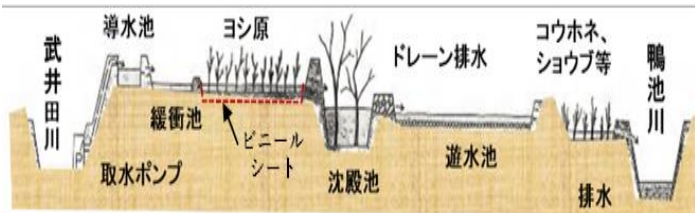
水辺整備② 沖野外輝夫氏の企画・指導によりヨシ原による水質浄化実験を実施

わが国でも注目を浴びたヨシ原による水質浄化実験が沖野外輝夫氏の企画・指導により平成5年(1993)～平成8年(1996)行われました。

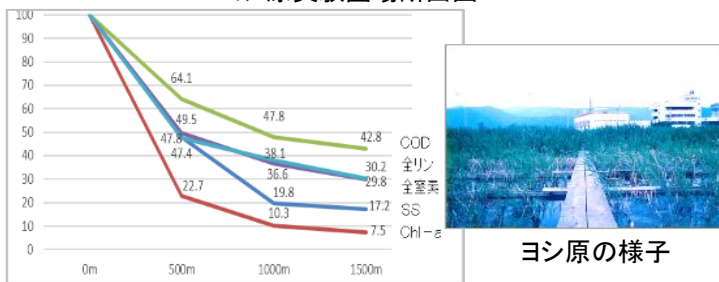
場所: 諏訪湖流域下水道処理場西側

内容: 武井田川の水をくみ上げ鴨池川に流す水路にヨシ原を造成し、水の浄化効果を調査。

水路延長1,400m、幅2.5m、面積3,500㎡にヨシ12万本を移植、5日間で水路を通過させる。



ヨシ原実験圃場断面図



ヨシ原の様子

ヨシ原による汚濁物質の除去状況(平成6年3月～12月)

この結果を踏まえ、平成7年に諏訪湖周囲を8ゾーンに区分けして諏訪湖水辺整備マスタープランが作成され、その後の生態系に配慮した水辺整備が実施されました。

第13回諏訪湖創生ビジョン推進会議を開催

令和7年5月28日(水)、第13回諏訪湖創生ビジョン推進会議を諏訪合同庁舎講堂で開催(72名参加)し、昨年度の取り組み実績及び今年度の取組方針について情報共有と意見交換を行いました。



会議に先立ち、寄附をいただいたセイコーエプソン(株)様及び(株)ウオーターエージェンシー様に感謝状を贈呈しました。

ワーキングでは参加者が日ごろ活動を通じて感じている点などを中心に活発な意見交換をしていただきました。



諏訪湖の水質は改善傾向 ~令和6年度速報値がまとまりました~

令和5年度と比較して、全窒素を除くすべての項目で改善がみられ、特に透明度は大きく改善し、「諏訪湖創生ビジョン」に掲げる目標値を達成しました。

また、全りんは目標値及び環境基準を7年連続で達成しました。

単年度のみでの結果で評価することはできませんが、長期的には水質は改善傾向にあり、皆さんの行動が水質改善に繋がっています。今後も「清らかで人々が親しむことができる湖水・湖辺」「多種多様な生き物を育む湖」を目指し、協力して取り組んでいきましょう。

単位: mg/リットル (透明度: m)

項目	R6年度速報値	R5年度	目標値(R8年度)	環境基準
COD	75%値	4.8	4.7	3.0以下
	(参考) 年平均値	4.4	4.0	—
全窒素	年平均値	0.67	0.62	0.6以下
全りん	年平均値	0.041	0.047	現状水準(環境基準の達成)の維持 0.05以下
透明度	年平均値	1.3	1.3m以上	—

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信85号

令和7年7月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



ヒシ除去活動今年も実施しました

令和7年6月26日、27日、28日の3日間、諏訪市セーリング協会や諏訪湖漁業協同組合他多くの皆様にご協力いただき、初島周辺で刈取作業を行いました。

今年度は、ヒシが十分に成長しきる前に刈り取りを行う効率的な除去作業を実践するため、例年よりも約一カ月程前倒しで作業を実施しました。

諏訪湖創生ビジョン推進会議では、湖岸域の貧酸素化や枯死による底質環境の悪化、船の運航障害、景観の悪化等の問題を生じさせるヒシの大量繁茂の対策として官民協働で手作業によるヒシの除去作業を行っており、今回は延べ154名で計3.5トンの刈り取りができました。



(稚エビの放流体験やお子さん向けの水環境学習会も開催さ



(手に巻き付けるとずっしりと重みがあります)

その「うんち君」はどこへ行く！？ ～四賀小学校での出前授業「うんち君の旅」～

令和7年6月11日に四賀小学校の4年生を対象に諏訪湖クラブ・下水道広報プラットホーム・諏訪市水道局により、出前授業「うんち君の旅」が行われました。

授業では下水道の仕組みや役割をはじめ、諏訪湖の歴史や環境について学習しました。



座って話を聞くだけでなく、実際にトイレトーパーでつくったうんち君を流し、普段見ることができないマンホール内からその姿を見たり、ペットボトル内の水にいれた溶けるティッシュペーパーと溶けないもの自分で振って観察しながら、下水に流して良い・悪いものを確認しました。

授業はクリーンレイク諏訪(豊田週末処理場)の見学に繋がっており、今回流した「うんち君」の行く末とどうやって汚れた水を綺麗にするか期待を持たせて終了しました。

普段思いを寄せることのない下水道や処理場その先にある諏訪湖について、自分のこととして考えながら学んだことはきっと記憶に残る内容となり、時間が経っても思い出せる授業になると思いました。

沖野外輝夫会長が諏訪湖浄化に繋がる取り組みを評価され、栄えある信毎賞受賞

第32回信毎賞の贈呈式が7月4日、長野市のホテル国際21で開かれ、諏訪湖クラブの沖野外輝夫会長(88歳)が受賞対象の2氏1団体の1人として顕彰されました。

主催者の信濃毎日新聞社からは「明確な目的意識を持った研究と実践は行政や地域社会に支持され、その取り組みは生態学者として、また市民活動のリーダーとして、かつては「日本一汚い」と酷評された諏訪湖の水質改善に尽力した功績が高い」と評価を得ました。

沖野先生は「多くの方の協力により諏訪湖の浄化が進められた。賞は諏訪地域全体で頂いたと受け止めている。大事なものはこれからです。放っておけば諏訪湖は元に戻ってしまう」とこれからの継続的な活動の必要性を話されました。



(第32回信毎賞受賞者と長野県阿部知事との記念撮影)

スワ・ウォーター・アドベンチャー ～諏訪湖で、夏の冒険がはじまる～

(株式会社アポルタ 代表取締役 井川 竜太)

《好評につき、定員枠160名は満員となりました》

諏訪湖創生ビジョン推進会議が主催の「水辺アクティビティ推進業務」を受託し、企画いたしました。諏訪湖の水と触れ合い、諏訪湖に親しむ手段として、レンタルカヤックで自由に湖上散策ができ、沖合50m地点に設置された疑似島に上陸、水上アスレチック体験をお楽しみいただける内容です。地域住民の親水意識の醸成を図ることを目的としたイベントで、諏訪地域の小中学生を中心に広報をいたしました。

- 【開催情報】
- 場所: 赤砂崎公園付近 湖畔(砥川河口右岸)
- 日時: 2025年8月3日(日) <予備日: 8月30日(土)> 9:00/11:00/13:00/15:00
- 参加費: 無料
- 参加条件: 3歳以上かつ 身長85cm以上
- 協力: アルピコホテルズ 株式会社



諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信86号



令和7年8月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議

諏訪湖環境研究センター主催 「諏訪湖フィールド学習会」が開催されました

令和7年8月2日(土)に「諏訪湖フィールド学習会」が初めて開催されました。諏訪地域を中心に6組のご家族が参加されました。

学習会では、映像展示やセンター職員の解説により、諏訪湖の水質、マイクロプラスチック(MPs)、プランクトンについて学んだあと、実際に諏訪湖に入り、水を取ったり、プランクトンネットを使った採水、MPsの採取・観察をしました。また、「五感での諏訪湖の環境チェック」として、子どもたちそれぞれが、ごみがあるか・湖岸から聞こえる音・におい・諏訪湖の魚を食べてみたいかなどをチェックしました。初めて諏訪湖に入る子どもたちが多く、意外と水がきれいなこと、MPsが多くあることなど、様々な発見がありました。続いて、横河川にも入り、水の冷たさなど、諏訪湖との違いを実感していました。



諏訪湖の採水



MPsの採取・観察



プランクトンの観察

センターに戻ってからは、諏訪湖と横河川の水のCODと透視度を測定・比較したり、諏訪湖のプランクトンを顕微鏡を用いて観察したりしました。特に、子どもたちは目には見えないプランクトンの世界を夢中で観察していました。

普段、体験できない内容で子どもたちも終始、楽しく諏訪湖の水環境について学んでいました。こうした機会を通じ、諏訪湖の水環境保全に関心をもってほしいです。

夏休み特別開放「諏訪湖の生き物大集合」が開催されました (県水産試験場 諏訪支場)

令和7年7月24日(木)、諏訪湖の生き物を地域の皆さまにもっと知ってもらおうと魚や水生昆虫を展示しました。親子連れなど44名が来場され、にぎやかな1日となりました。

高精細な顕微鏡を使ったプランクトンの観察では、肉眼では見ることのできないマイクロな世界に子どもだけでなく大人も釘付けになっている様子が印象的でした。

また、近くにある船着きで稚エビ(ヌカエビ、スジエビ)の放流体験を行い、併せてエビなどと地域の人々との食文化的なつながりについても紹介しました。これらの機会をとおり、諏訪湖をもっと身近に感じていただけたら嬉しいです。



解説する上島支場長



稚エビ放流体験



水槽展示

諏訪湖スマートインターチェンジが 開通しました

令和7年7月27日(日)15時に諏訪湖スマートインターチェンジ(SIC)が開通しました。当日行われた式典では、来賓祝辞のほか、テープカット、通り初め、地元の小学生や高校生によるアトラクションなどが行われました。

諏訪湖SICは中央自動車道 諏訪湖サービスエリアから乗り降りできるインターチェンジでETC車載器を搭載した車両(車長12m以下)が利用できます。

関係工事は四者で分担して行われ、NEXCO中日本がサービスエリアからETCゲート周辺を、上りアクセスを諏訪市が下りアクセスを岡谷市が、そして県が諏訪湖沿いの県道岡谷茅野線からアクセス部までの道路約1.4kmをそれぞれ新設しました。

今回の諏訪湖SIC開通は地域の観光振興や産業発展、さらには地域間の交流に大きく寄与することが期待されています。



開通前のテープカット



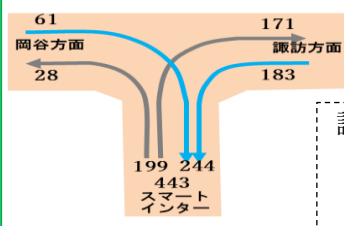
開通しました

諏訪湖スマートインター開通後の 交通量を調べてみました

令和7年7月27日(日)に供用開始したスマートインターの交通量を8月6日(水)の朝の7時~9時までの2時間を調べてみました。上り、下りランプの入口の出入り交通量を調べ、諏訪市及び岡谷市方面からの交通量及び1日当たりの交通量を換算しています。

(H27の岡谷茅野線の12時間交通量の7時~9時 0.201、昼夜率1.31を使用)

時間	上り (東京方面)		下り (松本方面)	
	出	入	出	入
7時~	79	33	17	102
8時~	92	16	11	81
計	171	61	28	183
合計	232		211	
12時間	1,154		1,050	
1日換算	昼夜率1.31		2,887台	



上りインター利用の出、下りインターの入りは諏訪方面から利用と推計すると

諏訪湖スマートインター
 7時~9時 利用者 443台
 岡谷市方面 89台 20%
 諏訪市方面 354台 80%

岡谷茅野線交差点

平日の利用者は約2,900台、諏訪方面が80%と意外と多いのには驚きました。諏訪⇄松本方面の動きが多いためです。なお、休日の交通量を調べれば観光交通量の動きが判ります。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信87号

令和7年9月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖環境研究センターの施設を公開します

諏訪湖を楽しく学ぼう!

長野県諏訪湖環境研究センター

施設公開

2025年10月5日(日) 入場無料!

9:00~13:30

会場 諏訪湖環境研究センター (ほか)
(岡谷市長地権現町4-11-51)

9:00~

- 常設展示一般公開
- 体験型ブース
- 諏訪湖調査体験 **※事前申込制**

11:00~

- 研究発表会

13:00~

- 試験研究室見学ツアー **※事前申込制**

申込方法等詳しくは、右のQRコードからセンターウェブサイトをご覧ください。
[問い合わせ先] 長野県諏訪湖環境研究センター総務部
TEL 0266-78-0151

諏訪湖環境研究センターでは、県民の皆様センターの業務や研究成果等を広く知っていただくとともに、地域住民等が諏訪湖について考える機会としてももらうため、「諏訪湖の日」協賛イベントとして施設公開を実施します。

諏訪湖創生ビジョン推進会議沖野会長の講演、小学生・高校生による

る水環境保全の取組の発表のほか、調査船「かんけん1号」に乗って諏訪湖の調査を体験いただくイベントや試験研究室見学ツアーなど、子どもから大人まで楽しめる内容となっていますので、ご家族連れでご参加ください。



詳しくは二次元コードから

諏訪湖で水遊びをしよう! 湖の驛プロジェクト

今年も魚つかみしたよ... 子ども達の歓声が浜辺に響き、水しぶきを上げて楽しみました。

真夏の日差しの中、諏訪湖に流れ込む冷たい沢の水で、素足のまま水遊びに夢中となる親子の笑顔あふれる楽しい一日となりました。

今回からの活動場所は、沢から流れ込む自然の砂地が広がり、シジミの繁殖も出来そうです。挑戦してみたいと考えています。

一部では水辺に近寄らないように...との声がある近年。子ども達がこの自然の恵みである”諏訪湖”で自由に遊ぶこと、そして汚れてしまった水辺を元(自然)に戻す活動に力を注ぐことこそ大人の務めと考えます。



当日の様子



魚つかみ!

水辺整備③ Aゾーン(諏訪市) 賑わいとふれあいの湖畔 「ふれあいなぎさ」

当地域はホテル、旅館街に面し、観光地の顔にあたります。昭和28年に諏訪湖の浚渫により埋め立てられ、延長が2.5kmの湖畔公園が整備されました。

親水性を持たせた水辺の整備により賑わいを創出しました。波による洗堀に対処するため根固め部は鉄平石を埋め、消波効果を図る巨石を並べました。

なお、令和3年4月には上諏訪駅と湖畔を直接結ぶ諏訪市道柳並線が整備され、諏訪湖畔へのアクセシビリティが向上しました。



広がりのあるふれあいなぎさ

ふれあいなぎさ(石彫公園)は子供たちの人気スポットです

ふれあいなぎさに並ぶ石彫は、昭和53年(1978年)に開催された諏訪湖国際彫刻シンポジウムに参加した7カ国21名の共同制作で、「諏訪市霧ヶ峰産の安山岩を使用し、土地の風土、素材、周囲の景観を踏まえながら最もふさわしい形で、そこにある命題を確かに表現できた」と語っています。

自由に触れ、親しむことのできる彫刻をコンセプトのひとつとしており、石の遊具として多くの子どもたちに親しまれています。



諏訪湖湖畔で作品を制作中の作成メンバー



「空へ」 細川宗英 作
1979.9.19
東京芸大卒、主な作品は諏訪市美術館に常設展示されています。



平成8年7月20日「なぎさ日本百景」に選定されました。
指定記念碑がふれあいなぎさの石碑横に建てられています。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信88号

令和7年10月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



「2025クリーンレイク諏訪ふれあいまつり」開催

令和7年9月27日(土)、諏訪市豊田のクリーンレイク諏訪で、一般市民への下水道の普及促進・適正利用啓発を目的に「2025クリーンレイク諏訪ふれあいまつり」を開催しました。

処理場の施設見学やプランクトンの観察、水の実験などのコーナーや下水道の仕組みなどのパネル展示、管更正工事のVRでの紹介など、下水道や環境について学んでいただきました。

初の試みとして、中古マンホール蓋の抽選売却を行うとともに、流域7市町村を始め、東信地方や県内他流域のデザインマンホール蓋の展示を行い、多くの関心を集めました。広場では新デザインマンホール(スワキング)の除幕お披露目を行い、ステージイベントとして近隣の高校生や小中学生が書道パフォーマンスやダンスパフォーマンスで会場を盛り上げていただきました。天候に恵まれ、約800名の方に参加いただき、楽しみながら下水道への理解を深めていただきました。



沖野外輝夫先生信毎賞受賞・米寿を祝う会を行い、記念冊子を作成しました

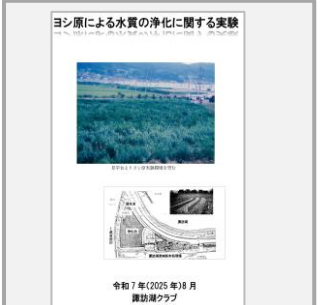
10月2日(木)に諏訪湖クラブ主催の沖野外輝夫先生信毎賞受賞・米寿を祝う会が行なわれ、諏訪湖の浄化等に賛同し協力頂いた方など72名が参加されました。

金子諏訪市長の祝辞、ソロプチミスト諏訪の河西さん、長田さんから沖野ご夫妻に花束が贈呈され沖野先生から謝辞が述べられました。

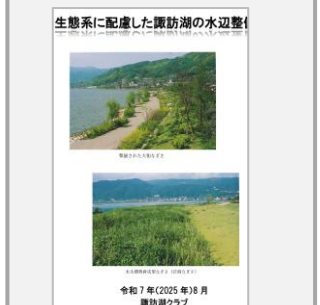
受賞を記念して冊子2冊を作成し、配布することができました。



沖野ご夫妻に花束贈呈



「ヨシ原による水質の浄化に関する実験」
A4カラー、20ページ
ヨシなどの植物が水質浄化に繋がっていることの実験の記録



「生態系に配慮した諏訪湖の水辺整備」
A4カラー、32ページ、
ヨシ等の植生によるなぎさ整備を実施した記録

さわこの日 カヤック・カヌー湖上サミット 「諏訪湖に感謝を！」 諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト

《諏訪湖の日》が制定されて7年目になりました。今年も『諏訪湖に感謝を！』の気持ちと共に漕ぎだしました。天竜川を活動拠点にしている「たかもりカヌークラブ」のメンバーさん・神奈川、埼玉から来られたパドル仲間と計8艇集まってくれ、心配された天候でしたが、風も波も超穏やか！静かな湖面を滑るように沖合に向かいます。沖合では諏訪湖環境研究センターの調査船が水中プランクトンの採取をしており、湖の水質環境調査に取り組む姿を目の当たりに見ることが出来ました。



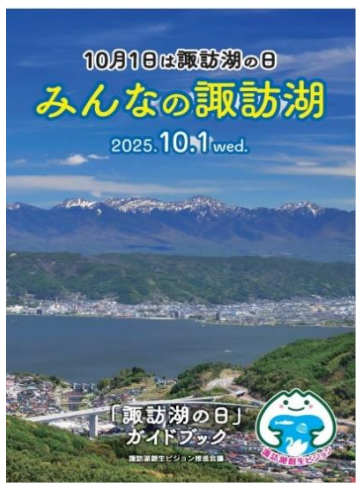
初島では初島神社「諏訪湖の日」の祭典が前島宮司によって執り行われ、参加者全員で『諏訪湖に感謝』の気持ちを捧げ捧げることが出来ました。

観光客や湖上花火大会で賑わったシーズンから少し静かになったこの季節だからこそ、それぞれの目線で『今の諏訪湖』を見つめてほしい！と思います。

本来湖の持つ美しさ！生命を育む力！かつてはあったはず。そんな思いで来年も『諏訪湖の日』に漕ぎ出します！



～10月1日は「諏訪湖の日」～ 「諏訪湖の日」ガイドブックを発行しました



諏訪湖創生ビジョン推進会議では、10月1日を「諏訪湖の日」と制定し、概ね9月～10月の諏訪湖に関わる取組や企画を「諏訪湖の日プロジェクト」として情報発信しています。

今年度のプロジェクトや諏訪湖に関する情報をまとめた「諏訪湖の日」ガイドブックを発行しました。この冊子を片手に、ぜひ秋の諏訪湖に親しんでみてください。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信89号

令和7年11月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



第2回諏訪湖天竜龍神まつりを開催しました

諏訪湖天竜龍神まつりは、「美しい諏訪湖を次世代へつなぐ」という想いのもと、地域の自然・文化人が循環する新たな価値創造の場として、令和7年10月11日(土)に岡谷福祉センター(諏訪湖ハイツ)にて開催しました。メイン会場では諏訪湖神事&開会式から始まり、環境についての特別講演、出演者による太鼓(諏訪神太鼓、遊beat)、演劇(もののふ隊)、歌や音楽、抽選会、こども仮装大会、じゃんけん大会、世界チャンピオンによるバルーンショー、ゴミ拾い、マルシェ&キッチンカー50店舗以上など盛りだくさんの催しが開催されました。



諏訪湖へ祈りと感謝を捧げる



下諏訪社中学校による絆太鼓の演奏



八幡神社宮坂宮司×環境省元事務次官中井氏対談

本まつりは、単なるイベントではなく、諏訪湖の浄化や循環再生への取り組みを広げる“きっかけの場”でもあります。企業・団体・市民が垣根を越えて協力し合うことで、「環境×文化×経済」の調和的な地域社会のモデルづくりを目指します。

第6回諏訪湖まるまるゴミ調査

11月1日(土)に第6回諏訪湖まるまるゴミ調査を行いました。前日はまとまった雨だったため、開催が心配されましたが、当日は好天に恵まれ無事開催することができました。参加者253名が諏訪湖周辺の4会場に別れ(1会場は中止)、飲料ペットボトル、ビニール破片、マスク等の18種類に分類し、その個数を調査しました。ごみ回収量の内訳としては、可燃ごみが約268kg、不燃ごみが約70kgとなりました。個数は全部で5210個、そのうちプラスチック製品由来のごみは4591個で、小さなビニール破片、プラスチック破片が半数以上を占めました。

ふりかえりの中では、「こうした機会がないと道端に落ちているゴミをなんとも思わなくなってしまう」、「目を凝らすと知っている以上に小さなプラスチック破片が落ちていることに気付いた。」、「ポイ捨てされたものが目立つ。」といった環境意識を高める新たな気づきや日頃のマナーを見直す声が挙がりました。本活動が単なる清掃にとどまらず、地域の環境課題を再認識し、行動に繋がるように今後も継続していくことが重要だと感じました。



沖野会長による挨拶



拾ったゴミを集計

諏訪湖環境研究センター施設公開が行われました

令和7年10月5日(日)に諏訪湖環境研究センターでは「諏訪湖の日」協賛イベントとして施設公開を行いました。水質やごみを調査する体験ブース、プランクトン観察、諏訪湖調査体験、研究発表会、試験研究室見学ツアーと盛りだくさんの内容で、諏訪地域を中心に111名の皆さんに会場いただきました。

○諏訪湖調査体験

センター所有の調査船「かんけん1号」に乗船し、諏訪湖の湖心で採水や透明度の測定、プランクトン採取をしていただきました。遊覧船とは違い、湖面までの距離が近く諏訪湖を身近に感じることができ、参加された皆さんから大変好評をいただきました。(参加:6組13名)



調査船出航



透明度測定

○研究発表会

はじめに、諏訪湖創生ビジョン推進会議・沖野外輝夫会長から「諏訪湖環境研究センターに期待すること」と題して、沖野会長がこれまで諏訪湖の環境改善に向け、取り組まれてきた内容を交えてお話いただきました。続いて、センター研究員2名から研究成果の発表を行い、最後に、下諏訪南小学校クラブ活動「水辺生物観察クラブ」参加児童の皆さんによる発表、岡谷工業高校環境化学科3年生による課題研究の発表をしていただきました。



(沖野会長による講演)



(下諏訪南小の皆さんの発表)

また、受付横には諏訪湖についての思いを書いていたボードを設置し、過去:諏訪湖での思い出やエピソード、現在:今、諏訪湖で気になっていることや楽しんでいること、未来:これから諏訪湖に期待することなどを、来場者の皆さまに自由に書いていただきました。「60年くらい前にスケートをして楽しんだ」「冬の諏訪湖が一番きれい」「メガネサナエみつきたい」といった心に残る体験や期待に満ちた思いを寄せいただきました。



思いを寄せたボード

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信91号

令和8年1月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョンの取組について取材を受けました

このたび、環境問題に特化したWebメディア「ecotopia」(株式会社浜屋)に諏訪湖創生ビジョンに関する活動について、取材を受けました。

記事では、水質改善の歴史やヒシ対策、湖畔のサイクリングロードや水辺アクティビティなど、諏訪湖を未来につなぐための取組について詳しく取り上げていただきました。

詳細は、以下のURLのページにて掲載予定ですが、諏訪湖通信の読者の皆様にも、こうした外部からの関心や連携の広がりを共有したく、ここにご報告いたします。諏訪湖創生ビジョンの実現に向け、引き続き皆様とともに歩んでまいります。

掲載URL) 環境問題に関するwebメディア「ecotopia」
<https://ecotopia.earth/article-9981/> (R8.1.21PM公開予定)



塩嶺から見た美しい日の出

過去の御神渡り時の様子

学びの講座の告知について

諏訪湖に学ぶ 参加無料

水環境からひもとく諏訪湖編

諏訪湖創生ビジョン推進会議では、諏訪湖についての学びを推進しています。今回は「水環境」という切り口から改めて諏訪湖についての知識を深め、諏訪湖に感謝し、思いを馳せていただくことを目的とした講座を開催します。

日時 令和8年2月4日(水) 13:00~15:40

場所 諏訪合同庁舎 502号会議室 (諏訪市上川1-1644-10)

講演

- ①「人・諏訪湖・まち」～自ら(水から)始める地域づくり～
メタウォーター株式会社 技監 栗原 秀人 氏
講師プロフィール
1951年長野県生まれ。1975年建設者入省、下水道や河川など水関連事業に従事。2007年職次を退職後、研究所長を経て2009年より現職。地域活性化伝道師、GKPアドバイザー、NPO理事長として人と川・水と街の再構築に取り組む。
- ②「諏訪湖の魚類の春夏秋冬」
諏訪湖環境研究センター 調査研究部 部長 北野 聡 氏

定員 20名 程度

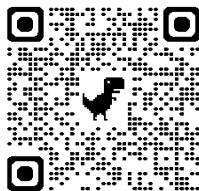
申込方法 (申込期限 令和8年1月30日(金))
下記のURL又は右記のQRコードよりお申込みください
<https://forms.gle/PTEb491diYDK4av7>

★参加者には、講座終了後にピンバッジをプレゼント!

諏訪湖創生ビジョン推進会議では、諏訪湖についての学びを推進しています。今回は「水環境」という切り口から改めて諏訪湖についての知識を深め、諏訪湖に感謝し、思いを馳せていただくことを目的とした講座を開催します。

【問合せ先】
諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局(諏訪地域振興局企画振興課)
電話 0266-57-2901(直通)または 電子メール suwachi-kkoku@pref.naganol.jp

本講座ではメタウォーター株式会社 技監 栗原秀人氏による「人・諏訪湖・まち」～自ら(水から)始める地域づくり～による講演の後、諏訪湖環境研究センター調査研究部北野部長による「諏訪湖の魚類の春夏秋冬」の講演になります。どなたでも気軽にご参加いただける内容で、参加者には講座終了後にピンバッジをプレゼントします。



申込は上記のQRコードから

鉄道建設は諏訪地方の蚕糸業を支えた 中央本線鉄道建設 その2

明治35年12月には篠ノ井線が塩尻まで開通

製糸の動力源である西条石炭が塩尻峠越えて岡谷まで入ってきた。

明治37年2月日露戦争勃発

全国的に公共事業が中断となった。工事の中止が決まると製糸企業者が中心となって「中央鉄道促成同盟会」を結成。鉄道公債45万円を地元が引き受けることで、明治37年6月鉄道建設工事が再開された。

(現在の価値で約90億円)

塩尻⇄岡谷間下間の索道を建設

明治37年、諏訪の製糸業界が塩尻と岡谷間下結ぶ索道を建設し、短い期間ではあるが西条石炭などを運んだ。



諏訪索道株式会社の開業祝賀会風景



貨物輸送中の索道(平野村間下付近)

特例で藪輸送が認められた

開通前だが、富士見ー岡谷間の資材搬入貨車に特例でまゆの輸送が認められた。

鉄道工事を中断させた豪雨災害、土砂崩落

- ・明治38年6月連日の梅雨により諏訪湖が氾濫し、鉄道線路も冠水
- ・明治38年8月相沢窪(石投場)付近で土砂崩落により工事中の線路が100m埋まり1か月程線路工事が中断した。



土砂崩落の状況

明治38年11月25日富士見⇄岡谷間が開業

当日は開通記念で半額、地元小学生は教員引率で無料、当日の乗降客は7千人を超え、どの列車も満員で運行した。



上諏訪駅の開通祝賀会



当時の蒸気機関車

明治39年6月塩尻⇄八王子間が全線開業

明治44年5月木曾福島⇄宮ノ越間が開通し中央本線全線開通 筑豊の良質な石炭が入ってきたことにより西条石炭はさびれた
大正12年10月川岸駅開業

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL : 0266-57-2901



諏訪湖通信92号

令和8年2月20日号 発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



「カワウ用忌避バンド」の効果検証 (水産試験場諏訪支場)

「第3回諏訪湖における持続可能な漁業振興を検討するWG」において報告した内容を紹介します。

みなさんは下諏訪町の沖にある消波堤にカワウが列を成して止まっている様子を見たことがあるでしょうか。カワウはワカサギを大量に食べていることがわかっており、休息場所があることは漁業被害の増大に直結します。

そこで、令和7年10～11月、近年開発され、すでに市販されている「カワウ用忌避バンド」による飛来防除の効果検証を行いました。これは幅3cmの赤色の生分解性素材で、鳥が触れると「刺激」を感じ取り嫌がる物質が含まれています。

このバンドを消波堤東端の約45mに写真のように設置し、設置前後の1週間で飛来数を比較したところ、隣に設けた非設置区(約45m)は30%以上増加したのに対し、設置区では95%以上減少し、効果を確認できました。さらに、この効果は1か月以上継続していました。



(忌避バンド設置後)

今後はカワウが忌避バンドの「刺激」を嫌ったのか、単に物理的な障害として避けただけなのか検証してみたいと考えています。

諏訪湖のガンカモ類生息個体数調査 (諏訪地域振興局林務課)

諏訪湖とその周辺河川に生息する水鳥の保護管理や農業水産業被害対策の基礎資料とするため、1月14日水曜日にガンカモ類の生息個体数調査を実施しました。

この調査は毎年度初夏・秋・冬の3回実施しており、平成5(1993)年度にスタートして本年度33年目を迎えました。毎年度冬の調査は環境省の呼びかけで全国一斉に実施されるガンカモ類の生息調査を兼ねて実施しています。早朝から昼前にかけて、鳥獣保護監視員・諏訪市及び諏訪地域振興局林務課職員が4班に分かれて調査を行いました。その結果約25種類が確認され、カモ類ではヒドリガモ・ホシハジロ・カルガモ、カモ類以外ではカムリカイツブリ・オオバン・カワウの個体数が多く確認されました。コハクチョウは4羽確認されました。



(調査の様子)

自然環境の変化を捉えるためには継続した調査が大切なことから、来年度も関係する方々の御協力をいただきながら実施してまいります。

水辺整備④ Gゾーン(下諏訪町) 水上スポーツを楽しむ湖畔

訪湖の水辺の整備Gゾーンは、水上スポーツを楽しむ湖畔づくりを目指しています。

令和2年5月に完成供用開始された下諏訪町新艇庫AQUA(アクア)が湖畔の健康スポーツゾーンの拠点としての役割を担っています。また、防災拠点として災害時には船を使って物資や人を輸送する拠点となる機能を備えています。



位置図

愛称AQUA未来は災害の無い未来になって欲しいとの思いが込められています。AQUA(アクア)は水という意味があります。



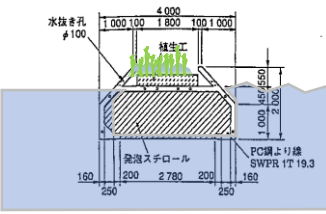
- 施設の概要
 - ・塔屋 屋上;展望スペース
 - 2階;災害対策室、女子更衣室
 - 1階;防災倉庫、トイレ
 - 男子更衣室
 - ・艇庫 収容数 135艇
 - ・外構 棧橋 3基
 - 展望が楽しめる足湯
 - 足湯は、サイクリングや散策されている方に喜ばれています。



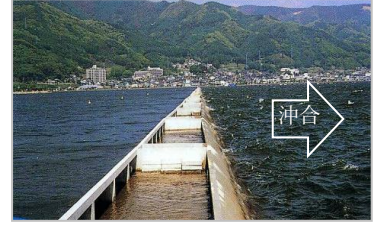
新漕艇庫の全景

防災計画

浮消波堤の整備により良好な諏訪湖レガッタや 諏訪湖トライアスロンの運営に寄与



浮消波堤断面図



内側は沖合に比べ静か

やまびこ国体を記念した始まった諏訪湖レガッタは下諏訪町ポートコースで開催されます。このコースに並行に設置された浮き消波堤は、幅は4m、延長はL=1,200mもあり、PC構造ですが発砲スチロールを内部に組み込み浮力を期待しています。一つのブロック 幅4m、長さ15mが7基をPC鋼線で緊張し複数のワイヤーで湖底に固定しています。

この消波堤により、レガッタの大会に風による影響が少なくなり、良好な運営に繋がっています。

令和4年6月から始まった諏訪湖トライアスロンの競泳コースにも採用されています。



下諏訪町ポートコースを力泳する参加者

令和7年6月29日(日)に第3回目の諏訪湖トライアスロンが開催され、735人がエントリーされました。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901



諏訪湖通信93号

令和8年 3月23日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



「諏訪湖に学ぶ 水環境からひもとく諏訪湖編」講座について

令和8年2月4日、諏訪合同庁舎において、諏訪湖創生ビジョン推進会議主催の講座「諏訪湖に学ぶ 水環境からひもとく諏訪湖編」講座が開催されました。本講座は、水環境という視点から諏訪湖への理解を深め、湖への感謝や関心を高めることを目的に企画されたものです。

当日は36名が参加し、メタウォーター株式会社の栗原秀人氏による「人・諏訪湖・まち」をテーマとした講演と、諏訪湖環境研究センター調査研究部北野部長による「諏訪湖の魚類の春夏秋冬」の二つの講演が行われました。



(左)
栗原氏による
講演の様子

(下)
北野部長による
講演の様子

講座後のアンケート結果を見ると、「大いに参考になった」が約8割を占め、「身近な人や観光で訪れる方に話したい内容だったか」という設問でも、肯定的な回答が全体を占め、参加者自身の理解にとどまらず、周囲へ伝えたいという意識につながっていることが読み取れました。

今後は、水質保全や生態系、湖畔を活かしたまちづくりなど、さらなる学びを期待する意見も見られ、諏訪湖への関心の高さがうかがえる講座となりました。



第7回諏訪湖まるまるゴミ調査のご案内

調査日: 令和8年10月31日(土)午前8時から

諏訪湖全域でごみの調査を行い、諏訪湖のごみの現状を把握するとともに、結果を公表することにより皆様の関心を高め、ごみの適正処理につなげます。

調査方法はとてもシンプル! 拾ったごみをカウントするだけです。参加方法等は、改めてお知らせします。

多くの方のご参加をお待ちしています!



ごみの無い諏訪湖ワーキンググループ

水辺整備⑤ Dゾーン(岡谷市)釜口水門 大噴水をシンボルとした憩いの湖畔

釜口水門は諏訪湖の治水のために昭和63年7月に建設されました。諏訪湖から太平洋へと流れる天竜川の出発点です。初期の水門は昭和10年に完成し、幅7.3mの水門が7門ありました。

2代目の水門はフラップ式二段ゲートが採用され、上段は魚腹型フラッグゲート、下段はシェル構造ローラーゲートとなっています。水門には、放流量を調節するゲートのほか、魚が自由に行き来できる魚道、漁船などが通行できる舟通しゲートも備わっています。

利用者: 自転車318台、歩行者139人(R7.4.25)



昭和63年7月に完成した2代目釜口水門
奥に昭和11年に完成の初代釜口水門が並んでいる珍しい写真

釜口水門周辺の人気スポットです



令和6年10月に設置されました。岡谷市出身の童画家武井武雄の作品「かたちのた」に着想を得てデザインされました。バックの噴水は7時から20時まで1時間毎に55mの高さまで上がります。

釜口水門の右岸に設置されたモニュメント

一見すると大きな積み木がバラバラに置かれているように見えますが、特定の場所から見ると「SUWAKO」の文字が背景の諏訪湖や八ヶ岳をバックに浮かび上がるトリックアートのような仕掛けがあります。



「まどろみ」武井直也 作
平野村出身 日本彫刻界にフランス近代彫刻の新しい風を吹き込みました。



釜口水門際に設置された小口太郎の銅像と歌碑。第三高等学校寮歌の「琵琶湖周航の歌」作詞者の小口太郎の生まれ育ったところです。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901